

機能性フィルムの基礎機能付与技術とトラブル対策【大阪開催】

～塗布膜の設計のための基本技術～

日時	2016年9月9日(金) 10:30～16:30	主催	(株)R&D支援センター
会場	大阪市立中央会館 2F 第4会議室 大阪市中央区島之内2-12-31		定員：30名
受講料	49,980円 ※昼食・資料付		※満席になり次第、 募集を終了させていただきます。
(税込)	※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。 ・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円 ・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。 ※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。 (ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)		

講師 島山 晶 氏 / 島山技術士事務所 所長 技術士 (応用理学部門)

趣 旨

ポリマー基材上設けられたポリマーの塗布層を設計するために必要な構成素材と、機能性付与の考え方を紹介する。塗布膜の欠陥とその防止については欠陥ごとの防止技術を紹介。機能性の例として、接着性、ブロッキング防止、ゴミ付き防止、滑り性、屈折率制御を取り上げる。

また現在フィルムの高機能化が強く求められている。塗布方式は高機能フィルムを製造する有効な方法である。同時に高機能フィルムには欠陥が無いことも要求される。本講演では塗布によるフィルムの高機能化とその際の欠陥防止について紹介する。

プログラム

- | | | |
|--------------------|-----------------|--------------|
| 1. 初めに | 4-5 マット剤 | 6-3 耐接着 |
| 2. 機能フィルム | 4-6 フィラー | 6-4 バリア性 |
| 2-1 フィルムの構成 | 4-7 ポリマー | 6-5 表面抵抗率低減 |
| 2-2 機能フィルムに要求される機能 | 4-8 すべり剤 | 6-6 耐久性 |
| 3. 基材 | 4-9 可塑剤 | 6-7 機能性付与の弊害 |
| 3-1 ポリマー基材の特徴 | 4-10 消泡剤 | 7. 故障対策 |
| 3-2 ポリマー基材の種類 | 4-11 UV吸収剤と安定剤 | 7-1 塗布工程 |
| 3-3 PET基材 | 4-12 有機溶剤 | 7-2 ハジキ |
| 3-4 フッ素基材 | 5. 塗布層の構成 | 7-3 白化 |
| 3-5 基材の表面処理 | 5-1 塗布層の形成方法 | 7-4 ゆず肌 |
| 4. 塗布層 | 5-2 水系塗布と溶剤塗布 | 7-5 割れ |
| 4-1 塗布層の構成要素 | 5-3 塗布液の構成成分と物性 | 7-6 ゴミ付き |
| 4-2 バインダー | 5-4 塗布液の乾燥過程 | 7-7 擦り傷 |
| 4-3 架橋剤 | 6. 汎用機能の付与 | 8. まとめ |
| 4-4 界面活性剤 | 6-1 塗布層の屈折率 | 【質疑応答・名刺交換】 |
| | 6-2 すべり | |

『機能性フィルムの基礎機能付与技術とトラブル対策【大阪開催】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号	FAX		
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 ・お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。 ・Eメールまたは郵送でセミナー・書籍の情報のご案内をお送りします。 ・ご案内は(株)R&D支援センターおよびS&T出版(株)からお送りします。			
		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法
左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-5857-4811)へご一報下さい。

■お支払
請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い
ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方をご出席ください。